

常任委員会の行政調査

産業経済委員会

平成27年2月4日から6日までの3日間、鹿児島県出水郡長島町の「水産振興の取り組み及びフラワーロード」についてと熊本県人吉市の「農業振興」について行政調査を行いました。

【長島町】

長島町は、鹿児島県薩摩半島の北西部に位置し、四方を海に囲まれ、長島本島ほか3つの有人島と大小23の島々からなる人口約1万1千人の町です。漁船漁業、養殖漁業、採草漁業等さまざまな漁業が営まれ、特に養殖ブリの生産量日本一を誇っている漁協があります。

きれいで豊かな海を守るために藻場の造成や漁礁を設置し、稚魚の放流を行うなど作り育てる漁業が実践されています。

東町漁協は、アメリカへ輸出するためのHACCP（ハサップ）認証や対EU輸出水産物食品取扱施設の認定を全国で最初に取得したところで、ロシアへの輸出も唯一ここだけが行っています。独自の飼料を開発

し、魚の肉質を統一化することで養殖魚のブランド化に成功し、今では果物を飼料配合したフルーツ魚が全国的に取り組まれています。この火付け役も東町漁協とのことでした。また、指導事業にも力を入れられ、積極的に補助金等の活用や人材育成、職員の意識改革に取り組んでいます。小さい町ですが、世界を相手に広い視野で事業化を成し遂げ、活気のある様子が説明の随所に窺えました。

町の景観事業（ぐるっとフラワーロード事業）は、島内の国道道沿い約40キロメートルを花壇で飾ろうというもので、現在までに14キロメートルが完成しています。この事業は、県から維持補修や樹木の育成保全に係る権限移譲を受け、町道との一体的な景観づくりが可能となったことによって実現したとのこと、ツワブキや水仙などが石積み花壇に植えられ、とても印象に残る景観でした。本市の景観まちづくりに大いに参考となるものでした。

【人吉市】

人吉市は、熊本県の南部にあり人口約3万4千500人を有し、生活、文化、産業などあらゆる面で人吉球磨

地方の中心として、また、宮崎、鹿児島両県と接するため交流拠点としての役割を担っています。

市長の公約である「農業で食べられるまち」の施策に取り組みられていて、盆地特有の寒暖の差を利用した多種多様な作物が栽培されているものの代用的なものがないところが課題だったそうですが、隣町に日本で唯一のハラール（イスラム法で「合法的」なものをさす言葉）食肉の加工施設があることをヒントに、

特別委員会の動き

西九州自動車道整備促進特別委員会

伊万里・平戸・松浦市議会・佐々

町議会西九州自動車道建設促進協議会の活動計画に基づき、12月24日に国土交通省九州地方整備局長に対し、また、2月13日に佐賀、長崎両県知事並びに両県議会議長に対し、道路整備予算の安定的な財源確保及び唐津伊万里道路、伊万里道路、伊万里松浦道路、松浦佐々道路の事業促進と早期完成を要望いたしました。

九州地方整備局では、計画的に事業を進めるためには予算の確保と用地の取得が重要とのことでしたので、

平成26年5月には「人吉ハラール促進区をコアとした地域産直・広域ネットワーク及びツーリズム構築事業」が国の地域活性化モデルケースに選定されています。このことは農業のみならず、観光、商業とあわせ今後注目される事業であり、東京オリンピックも視野に入れた取り組みとのことでした。企業誘致の観点からも、素晴らしい発想であり、大いに参考となる事例でした。

協議会としても地元熱意を中央へ伝える活動を引き続き行っていくことを伝えるとともに、西九州自動車道の日も早い全線開通をお願いしました。

長崎県では、国の道路予算は厳しい状況であるため、公共事業の必要性について分析を行うとともに国の財政当局に投資効果を訴えていき、沿線自治体と協力しながら円滑な事業執行を目指したいとの考えが示されました。

佐賀・長崎両県並びに両県議会においても、協議会と一緒に建設計画に向けた国への働きかけを行っていくことを確認いたしました。